

102-278

問題文

33歳女性。鼻づまりの症状が続いていたため、耳鼻科を受診したところ、花粉症と診断され、以下の処方箋を薬局に持参した。

(処方1)

プラナルカストカプセル 112.5 mg 1回2カプセル (1日4カプセル)
1日2回 朝夕食後 14日分

(処方2)

エバスチン錠 10 mg 1回1錠 (1日1錠)
1日1回 朝食後 14日分

(処方3)

フルチカゾンプロピオン酸エステル点鼻液 50 μ g 56噴霧用 1本
1回各鼻腔に1噴霧 1日2回 朝夕 噴霧

(処方4)

トラマゾリン塩酸塩点鼻液 0.118% 10 mL
鼻閉時 1回各鼻腔に1噴霧 1日4回まで

問278

患者に説明する内容として適切でないのはどれか。2つ選べ。

1. 処方1による鼻づまりの解消効果はすぐに現れます。
2. 処方2の服用中は、眠気を催すことがあるので注意してください。
3. 処方3は、花粉飛散期は使用を継続してください。
4. 処方4は、鼻の血管を拡げて症状をやわらげます。
5. 来年からは花粉の飛散前に受診するようにしてください。

問279

処方3の薬剤に関する記述のうち、正しいのはどれか。2つ選べ。

なお、本剤には、結晶セルロース、カルメロースナトリウム、ポリソルベート80、フェニルエチルアルコールなどが添加されている。

1. 本剤は、無菌試験法に適合する。
2. 本剤は、定量噴霧式の点鼻液であり、1噴霧当たりの有効成分含量は約0.9 μ gである。
3. フルチカゾンプロピオン酸エステルは、投与部位で活性を示した後、その部位で速やかに代謝・不活化されるアンテドラッグである。
4. 本剤は、難水溶性のフルチカゾンプロピオン酸エステルが分散した水性懸濁液である。
5. ポリソルベート80は、微生物の発育を阻止する目的で添加されている。

解答

問278：1, 4問279：3, 4

解説

問278

選択肢 1 ですが
一般的に、プラナルカストは、2～4週間程度服用を継続して効果が出てきます。効果がすぐに現れる というのは適切でないと考えられます。よって、選択肢 1 は誤りです。

選択肢 2 は、正しい記述です。
エバスタチンは第 2 世代抗ヒスタミン薬です。眠気などの副作用があります。

選択肢 3 は、正しい記述です。

選択肢 4 ですが
トラマゾリンは、血管収縮剤です。血管を拡げるわけでは、ありません。よって、選択肢 4 は誤りです。

選択肢 5 は、正しい記述です。
予防的投与で、症状がやわらぐことが期待されます。

以上より、正解は 1,4 です。

問279

選択肢 1 ですが
点鼻剤は、無菌試験は行いません。目薬や注射剤が適合します。よって、選択肢 1 は誤りです。

選択肢 2 ですが
1 回噴霧中の有効成分が 50 μg です。よって、選択肢 2 は誤りです。

選択肢 3,4 は、正しい記述です。

選択肢 5 ですが
ポリソルベート 80 は、非イオン性界面活性剤です。乳化剤として用いられます。微生物の発育阻止の目的ではありません。よって、選択肢 5 は誤りです。

以上より、正解は 3,4 です。